

2020年度展望

重要国際プロセスと注目トピック

IGESプレスセミナー

- 地球環境課題と国際動向 解説シリーズ 2020 -

第1回 2020年重要イベントと抑えておくべきポイント

コミュニケーション・共創担当ディレクター 大塚 隆志

ポイント (1)

- COVID-19パンデミックの状況下、最優先は人命と健康の確保
- その間もグローバルな環境と持続可能性に関する危機的状況は継続
- 社会経済システムの変革に向けたモメンタムを失うことなく、パンデミックからの回復期に適切な施策を組み込み実行していくことが重要

2020年重要国際プロセス

持続可能な開発目標：SDGs

アジア太平洋
SDGフォーラム
5/20, オンライン

アジア太平洋
SDGs進捗報告書2020

ハイレベル政治
フォーラム(HLPF)
7/7-16, NY

生物多様性サミット
9/2, NY

第75回国連総会
9/15-30, NY

気候変動

UNFCCC-COP25
マドリード

SB52 6/1-11, ポン (10月に延期)

UNFCCC-COP26
2021年に延期

IPCC第52回総会
2/24-28, パリ

IPCC第53回総会
10/6-10 (調整中)

各種IPCC報告書は
2021-2022年に
公表予定

第2回 気候変動 & SDGs シナジー会合
4/1-3, コペンハーゲン (延期)

IPCC-IPBES共同ワークショップ
5/12-14, ロンドン (延期)

アジア太平洋気候ウィーク
8/24-28 (2021年に延期)

IPCC-IPBES合同技術レポート

UNEP 排出キャップ
報告書2020

生物多様性/生態系サービス/ 生産と消費/循環型経済

ポスト2020生物多様性枠組 検討プロセス
(OEWGやSBSTTAなど)

地球規模生物多様性概況 第5版

CBD-COP15
10/5, 昆明 (延期)

第5回国連環境総会
2021年開催予定
ナイロビ

ポイント (2)

- SDGsについては、17の目標を個別に取り扱うのではなく、「人間の幸福」を上位目標とする統合的な取り組みの推進が呼びかけられている。
- 2019年に公表されたグローバル評価報告書の多くが、事態の緊急性と抜本的な改革の必要性、さらには取り組みが不十分な現状を指摘。
- SDGs、気候変動、生物多様性といった喫緊の課題解決に向けた共同の取り組みが始まっている。



持続可能な開発に関するグローバル・レポート2019 「未来は今：持続可能な開発を達成するための科学」



望ましい変革を必要な規模・スピードで達成するための6つのエントリーポイント

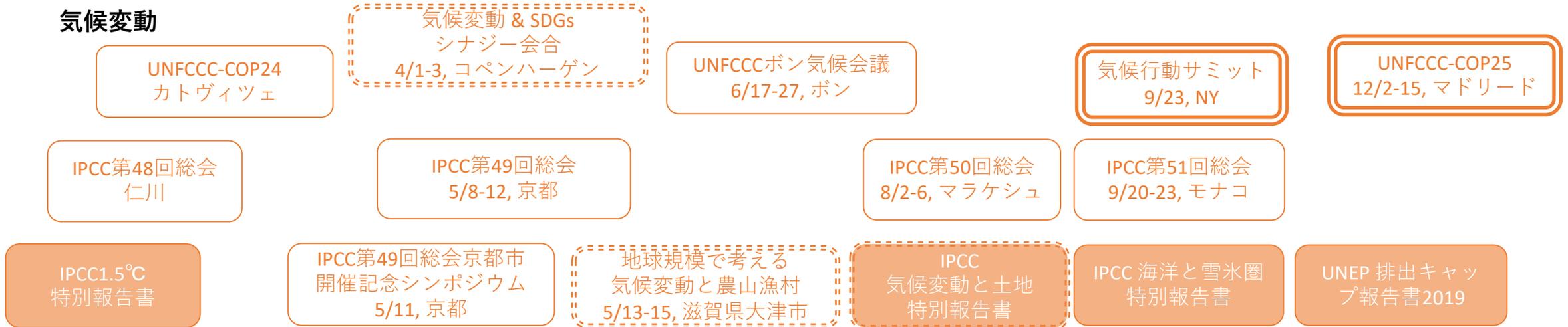
- 人間の福祉と能力
- 持続可能で公正な経済
- 食料システムと栄養パターン
- エネルギーの脱炭素化とエネルギーへの普遍的アクセス
- 都市および都市周辺部の開発
- 地球環境コモンズ

2019年重要国際プロセス

持続可能な開発目標：SDGs



気候変動



生産と消費 / 生態系サービス / 生物多様性





持続可能な未来展望

地球環境課題の国際動向

- Sustainable Future Outlook -

<https://www.iges.or.jp/sfo/jp/index.html>



「持続可能な開発に関するハイレベル政策フォーラム」(HLPF)は、2015年9月に国連の「サ・サ发展目标」に基づく持続可能な開発目標(SDGs)達成に向け、政府の「サ・サ」の進捗を監視する主要な国際的なプラットフォームとして機能します。HLPFは、SDGsの達成を促進するため、国や地域レベルでの進捗を監視することにより、SDGsの達成を支援することに協力します。政府、民間企業、市民社会



「持続可能な開発に関するアジア人高レベルフォーラム」(APFSD)は、2015年3月27日から29日にタイのバンコクで開催されました。APFSDは、今年7月に開催される「持続可能な開発に関するハイレベル政策フォーラム」(HLPF)と連携し、アジア地域は持続可能な開発目標の達成を支援することを目指しています。



「持続可能な開発に関するアジア人高レベルフォーラム」(APFSD)は、2015年3月27日から29日にタイのバンコクで開催されました。APFSDは、今年7月に開催される「持続可能な開発に関するハイレベル政策フォーラム」(HLPF)と連携し、アジア地域は持続可能な開発目標の達成を支援することを目指しています。



2016年3月11日から15日にわたって、クアラルンプールで開催された第4回国連環境会議(UNEA4)が「環境的課題の持続可能な解決のための革新的な解決策」(Innovative Solutions for Environmental Challenges and Sustainable Consumption and Production)というテーマで開催されました。一方で、国連の持続可能な開発目標から化学物質管理、特に化学物質の持続可能な消費と生産に注目が集まりました。175か国からの代表者が参加し、23の決議と3つの宣言が採択されたことが注目されています。



「持続可能な開発に関するハイレベル政策フォーラム」(HLPF)は、2015年9月に国連の「サ・サ」に基づく持続可能な開発目標(SDGs)達成に向け、政府の「サ・サ」の進捗を監視する主要な国際的なプラットフォームとして機能します。HLPFは、SDGsの達成を促進するため、国や地域レベルでの進捗を監視することにより、SDGsの達成を支援することに協力します。政府、民間企業、市民社会



「持続可能な開発に関するハイレベル政策フォーラム」(HLPF)は、2015年9月に国連の「サ・サ」に基づく持続可能な開発目標(SDGs)達成に向け、政府の「サ・サ」の進捗を監視する主要な国際的なプラットフォームとして機能します。HLPFは、SDGsの達成を促進するため、国や地域レベルでの進捗を監視することにより、SDGsの達成を支援することに協力します。政府、民間企業、市民社会

Home > Projects > 日本語で読むグローバル環境評価報告書シリーズ

日本語で読むグローバル環境評価報告書シリーズ

<https://www.iges.or.jp/jp/projects/20191015>



気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の特別報告書をはじめ、世界には様々な環境評価報告書があります。IGESでは、中でも特に重要なものやIGESの研究者が執筆に関わったものなどを中心に日本語翻訳版や日本語による解説ハンドブックを作成しています。このページでは、これまでに発表した日本語翻訳版ならびにハンドブック、関連する解説記事等を紹介しています。

Translation of non-IGES Material



March 2020

[IPBES生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価報告書 政策決定者向け要約](#)

Author: IPBES

IPBES地球規模評価は、1970年代から2050年までの期間の地球全体を対象に、自然科学や社会科学の知識、ならびに幅広い知

ご清聴ありがとうございました。